

免疫チェックポイント阻害薬における高血糖の早期発見のために

免疫チェックポイント阻害薬は、免疫のしくみ(免疫機能)を利用した治療です。がん細胞を攻撃する作用がある一方で、様々な副作用を認めることがあります。頻度は稀ですが特に、急激に発症する劇症1型糖尿病は命に関わる副作用であるため、十分な注意が必要になります。

劇症1型糖尿病の初期症状: 上気道炎症状(発熱、咽頭痛など風邪のような症状)
全身倦怠感(しんどい、だるい)
消化器症状(上腹部痛(おなかのいたみ)
吐き気(むかむかする)、嘔吐など)

高血糖の症状: 口渇、多飲、多尿、体重減少、全身倦怠感、意識障害

血糖値が高くなっていないかを簡便に知る方法として尿糖をチェックする方法があります。尿糖チェックは、手軽に現在の血糖の状態を間接的に知ることができ、糖尿病の発見に大変有用です。そのため、試験紙を購入頂き、自宅で検査していただくことをお勧めしています。

「新ウリエース®Ga」などの尿糖をチェックできるものを購入して下さい。ミネ薬局登戸店、クリエイト川崎宿河原店やウェルパーク中野島などで取り扱いがあります。30枚入り800円、50枚入り1200円程度です。

検査するタイミング

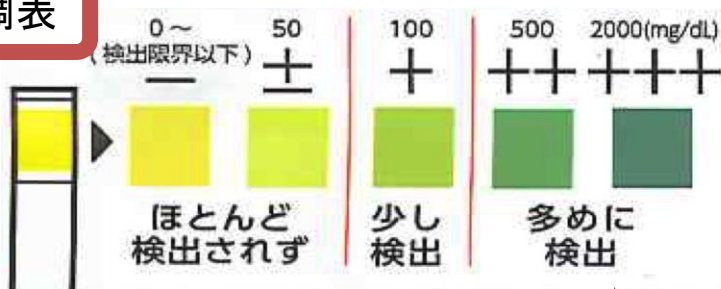
治療開始前(ベースライン)

- 朝起きて、最初の尿
- 食後1~2時間の尿(朝昼夕食いずれでも可)
それぞれ1回ずつ

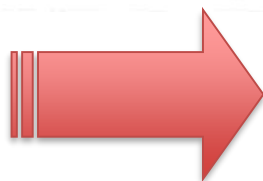
治療開始後 2~3日毎

- 食後1~2時間の尿
- 倦怠感など通常と違うと感じたとき(随時)

色調表



緑色に変化したら、
要相談!!!!



(1) 約1秒間、試験紙に尿をかけます



(2) 30秒後に、色調表と比較して、判定します



(3) 判定後は、そのままトイレに捨てられます

